

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズクローバー		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 12月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 1 階の広い運動スペースがあり、2 階の学習創作スペースがきちんと分けられており、子供たちの切り替えがしっかりとできる事業所空間をいかして、日々支援を行っている。	・ 1 階の全天候型の屋内運動スペースで全力で発散できるような支援を取り入れている。	・ 支援に関して研修等を通じて支援に厚みを持たせていきたい。
2	・ 宿題を仕上げてから遊び等が可能とするルールで、宿題に取り組む習慣が身に付く支援。	・ 子ども同士で喧嘩や意見の相違が発生した際は、しっかりと向き合い、当日で解決できるように考え方の助言を行っている。	・ 新たなご利用児童を拡充し、子どもたちにいい刺激となるような事業所運営に取り組んでいきたい。
3	・ 子供たちが主体性をもって取り組む『こども会議』にて小学生の子どもたちを中心に遊びやイベントの話し合いを行い、自分たちで決まり事や意見交換をし個人の意見、全体の意見を考えることの大切さを学べる機会を日々の支援に取り入れている。		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 手のかかる子に手を取られて均一な支援が難しい場面がある。	・ 人員の不足。	・ 支援に余裕を持たせられるように人員を獲得していきたい。
2	・ スタッフ間の意思の疎通に相違がある場面がある。	・ スタッフ間の意思の疎通。	・ 事業所としての方針をスタッフ間でしっかりと共有し支援の方向性を合していきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズクローバー
------	----------

公表日 2024年12月31日

利用児童数 14 回収数 10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10				特にありません。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10				特にありません。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1			特にありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1		1	特にありません。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1		1	特にありません。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10				特にありません。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10				特にありません。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			1	特にありません。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10				特にありません。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			1	特にありません。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	3	3	特にありません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				特にありません。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				特にありません。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	4	3	3	特にありません。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10				特にありません。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	4	3	1	特にありません。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10				特にありません。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	3	3	特にありません。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2			特にありません。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				特にありません。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10				特にありません。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				特にありません。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				特にありません。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			2	特にありません。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				特にありません。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				特にありません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				ずっと行きたいと言うてます。 大好きな場所です。	貴重な意見を賜り、より良い支援環境づくりに努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				いつも楽しみにしています。	貴重な意見を賜り、より良い支援環境づくりに努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				先生もお友達も大好きです。	貴重な意見を賜り、より良い支援環境づくりに努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
キッズクローバー		2024年 12月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		学習時間 1 階 2 階に分けて使用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		安全面を考慮し人数などを調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	階段を昇り降りする際には、未就学児は必ず手をつなぐようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		空気の入れ替えを常に行い、机、床、手洗い場、トイレなどをきれいな状態を保つようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	目の届く場所に限り認めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	ミーティングで確認するようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	業務改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	機会があれば参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		児発管を中心に、保育士、元教師の意見を取り入れながら作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		送迎時や連絡帳を通じて作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		支援方法に関して様々な意見が出てくるので、全体の意見を総合的に盛り込んだ支援方法を考えている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		ミーティングや共有Lineで各自分かるように伝えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		日々の小さな気づきをアセスメントに盛り込んでいる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		5領域に基づいて作成していく上で、本人支援をベースに家族支援を盛り込んでいるので、本人支援を重視して支援している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	チームで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		その日のコンディションなどを考慮しながらマンネリ化のしない支援に努めている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		こどもの状況を各スタッフがしっかりと観察しているので、その都度適切な支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		スタッフ全体で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		当日、若しくは翌日に確認、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	その日の内容は連絡帳に記載し保護者と共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的にモニタリングを行い、支援計画書に反映させている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		自立支援、創作活動、地域交流、余暇、を取り入れながら支援に努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		弊事業所独自の『こども会議』で子供たち自身で意見交換し意思決定のできる環境を提供している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		担当者会議にはよく理解したものが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		連携を取れる体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		適時行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		通っていた園から情報共有し。こどもの状態把握に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	連携を取れる体制を整えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1	連携を取れる体制を整えている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	連携を取れる体制を整えている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	機会があれば参加していく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日頃からこまめに連絡を取り合っており、状況の把握、共有は常に行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	家族支援も念頭に置いて支援に努めている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	契約時に必ず説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		子ども自身の意見を反映しながら、保護者からのヒアリングを盛り込んでいる。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		契約時に必ず説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時や日々の連絡際にこまめに聞き出すように努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	数年前に開催した実績があるが、今後継続して開催できるように善処していきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		即時周知する体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月発行の『キッズクローバー新聞』で月ごとの様子を発信し、SNSで日々の様子も発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵付きの書庫で十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		その方に合わせた伝え方等を考慮しながら情報伝達の配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	利用者以外を招待したことがない。	今後機会があれば開催したいと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	定期的に避難を行い、BCPの共有などを行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		アセスメントの際や、日々の連絡の中から必ず確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		保護者から必ず確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		常日頃から行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	事象の共有と再発防止について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		適切な対応を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	原則として身体拘束は行うことがない。また契約時に過去のケースなどの説明を必ず行っている。	